

復旧工事が終われば水害前のような天然遡上に期待

みなべがわ 南部川

2013年9月30日のポイント写真撮影日は工事によるニゴリが強烈だったが中流域には広いポイントもあって工事さえ終わり遡上が戻れば！というのが率直な感想

解説◎喜多幅 武



紀州備長炭振興館は備長炭の歴史、文化、製造技術を「知る・観る・触れる」をテーマに設立。備長炭の粉末を混ぜた黒いアイスクリーム「炭愛ず」が食べられる



中流域で最も友釣りしやすいエリア。天然遡上が好調の年は好釣果が期待できる



岩盤底の瀬。左岸に出ている木の枝に注意。すぐ上流に堰堤がありアユが溜まりやすい



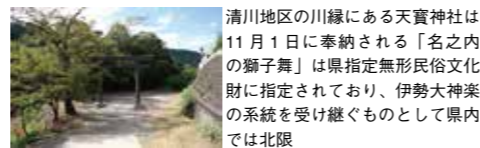
河原が狭く両岸から木が覆い被さっているのでリールザオがベスト

梅の産地として全国的に有名な、みなべ町を流れる南部川は友釣り河川としてはまったく知名度がない。地元の人ほとんど友釣りをしておらず、特に上流域は非常に川幅が狭いためアユザオが振れないのでタモ網ですくうのが地元での主流だ。

この南部川も平成23年の台風12号による大雨で被害を受け、流域の復旧工事が今なお続いている関係で特に雨後にはかなりきついニゴリが入ることが非常に多いが、水害以前は下流から中流域で多くの天然遡上アユが確認

できた。工事さえ終われば以前のように遡上してくれるものと期待している。元々釣りが少ないので遡上が多い年は数釣りを楽しめるだろう。

全体に流れが穏やかで深い淵も少ないため子ども連れで訪れる人も多く、夏休みに家族サービスを兼ねて川遊びの合間にサオをだしてみるのもよいだろう。この南部川にも切目川同様、オトリ店がないので途中、他河川での購入となる。入漁券の購入に関しては漁業組合に問い合わせしてほしい。



清川地区の川縁にある天寶神社は11月1日に奉納される「名之内の獅子舞」は県指定無形民俗文化財に指定されており、伊勢大神楽の系統を受け継ぐものとして県内では北限

●管轄漁協 南部川漁業協同組合（みなべ町商工会南部川分所内 ☎ 0739-74-2308）
●解禁日 6月1日（明神堰堤上流は6月15日）
●入漁料 年券5000円、日券2000円。18歳以下は無料
●交通 阪和道のみなべICから国道42号を高野龍神方面へ

増水でアウトの日高川・龍神から至近距離の逃げ場

きりめがわ 切目川

阪和道からも国道42号からも河口部以外ほとんどその流れを見ることがない切目川。実は友釣り可能なポイントがそこそこあって、いつでものんびりサオが振れる

解説◎喜多幅 武



写真①のポイント下流の橋のすぐ下でサオをだす



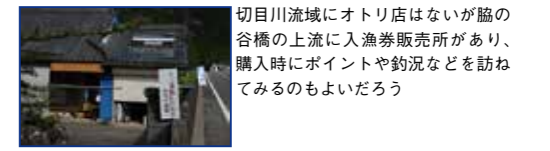
群れアユの中を泳がせると、まずまずのサイズが掛かった

切目川は三里ヶ峰付近を水源とし紀伊水道へと注ぐ幹川流延長35kmの二級河川。友釣り河川としてはほとんど知られていないが、この川に足繫く通うファンがいるのも紛れもない事実。魅力は何といっても釣り人が少なく、いつでもどこでも、のんびりと友釣りを楽しめることだろう。

下流域は天然遡上のアユが、上流域は放流されたアユというふうには、川全域にまんべんなくアユがいる。下流域は川幅もそこそこあり釣りやすく、中流域から上流は溪流相となり水質も悪くないが、両岸から木の枝が覆い被さっているところも一部あり9mザオが振れないポイントもある。

大雨、増水のあとでも比較的水量が落ちるのが早く、他の河川が濁っていても友釣りが可能なことから、増水時の逃げ場として切目川に来る人もいます。特に日高川の龍神地区からは国道425号を利用すると短時間で切目川まで下りてこられる。

ただ切目川の流域にはオトリ店がないため近隣の日高川などで購入する必要がある。



切目川流域にオトリ店はないが脇の谷橋の上流に入漁券販売所があり、購入時にポイントや釣況などを訪ねてみるのもよいだろう

●管轄漁協 切目川漁業協同組合（☎ 0738-42-0217）
●解禁日 6月15日
●入漁料 年券5000円、日券3000円。18歳以下は無料
●交通 阪和道の御坊ICから国道27号、25号、国道425号を経由して中流部の古井方面へ



上流域だが河原が広く9mザオが楽々振れるポイント



岩盤底となっており、いかにも良型が釣れそうなポイント。両岸から出た木の枝に注意



上流側の瀬落ちからのトロ場が本命ポイント